

254
133

寶文館編輯所編纂
愛石玉木本三郎書

訂正



最新
中等習字帖

中

東京
大阪

寶文館藏版

K220.72
44
2

K220.72

44

2

中
 漢文教科書
 第一冊
 漢文教科書
 第二冊
 漢文教科書
 第三冊
 漢文教科書
 第四冊
 漢文教科書
 第五冊
 漢文教科書
 第六冊
 漢文教科書
 第七冊
 漢文教科書
 第八冊
 漢文教科書
 第九冊
 漢文教科書
 第十冊
 漢文教科書
 第十一冊
 漢文教科書
 第十二冊
 漢文教科書
 第十三冊
 漢文教科書
 第十四冊
 漢文教科書
 第十五冊
 漢文教科書
 第十六冊
 漢文教科書
 第十七冊
 漢文教科書
 第十八冊
 漢文教科書
 第十九冊
 漢文教科書
 第二十冊
 漢文教科書
 第二十一冊
 漢文教科書
 第二十二冊
 漢文教科書
 第二十三冊
 漢文教科書
 第二十四冊
 漢文教科書
 第二十五冊
 漢文教科書
 第二十六冊
 漢文教科書
 第二十七冊
 漢文教科書
 第二十八冊
 漢文教科書
 第二十九冊
 漢文教科書
 第三十冊
 漢文教科書
 第三十一冊
 漢文教科書
 第三十二冊
 漢文教科書
 第三十三冊
 漢文教科書
 第三十四冊
 漢文教科書
 第三十五冊
 漢文教科書
 第三十六冊
 漢文教科書
 第三十七冊
 漢文教科書
 第三十八冊
 漢文教科書
 第三十九冊
 漢文教科書
 第四十冊
 漢文教科書
 第四十一冊
 漢文教科書
 第四十二冊
 漢文教科書
 第四十三冊
 漢文教科書
 第四十四冊
 漢文教科書
 第四十五冊
 漢文教科書
 第四十六冊
 漢文教科書
 第四十七冊
 漢文教科書
 第四十八冊
 漢文教科書
 第四十九冊
 漢文教科書
 第五十冊
 漢文教科書
 第五十一冊
 漢文教科書
 第五十二冊
 漢文教科書
 第五十三冊
 漢文教科書
 第五十四冊
 漢文教科書
 第五十五冊
 漢文教科書
 第五十六冊
 漢文教科書
 第五十七冊
 漢文教科書
 第五十八冊
 漢文教科書
 第五十九冊
 漢文教科書
 第六十冊
 漢文教科書
 第六十一冊
 漢文教科書
 第六十二冊
 漢文教科書
 第六十三冊
 漢文教科書
 第六十四冊
 漢文教科書
 第六十五冊
 漢文教科書
 第六十六冊
 漢文教科書
 第六十七冊
 漢文教科書
 第六十八冊
 漢文教科書
 第六十九冊
 漢文教科書
 第七十冊
 漢文教科書
 第七十一冊
 漢文教科書
 第七十二冊
 漢文教科書
 第七十三冊
 漢文教科書
 第七十四冊
 漢文教科書
 第七十五冊
 漢文教科書
 第七十六冊
 漢文教科書
 第七十七冊
 漢文教科書
 第七十八冊
 漢文教科書
 第七十九冊
 漢文教科書
 第八十冊
 漢文教科書
 第八十一冊
 漢文教科書
 第八十二冊
 漢文教科書
 第八十三冊
 漢文教科書
 第八十四冊
 漢文教科書
 第八十五冊
 漢文教科書
 第八十六冊
 漢文教科書
 第八十七冊
 漢文教科書
 第八十八冊
 漢文教科書
 第八十九冊
 漢文教科書
 第九十冊
 漢文教科書
 第九十一冊
 漢文教科書
 第九十二冊
 漢文教科書
 第九十三冊
 漢文教科書
 第九十四冊
 漢文教科書
 第九十五冊
 漢文教科書
 第九十六冊
 漢文教科書
 第九十七冊
 漢文教科書
 第九十八冊
 漢文教科書
 第九十九冊
 漢文教科書
 第一百冊
 漢文教科書

一本書は明治
 正せられた
 教科書に基
 一本書の主
 として強
 字上の要
 最良方法に
 構の要訣
 一本書は右
 分の力を用
 のなれば材
 一本書の教
 減によりて
 明治四十
 然

明治十四年七月二十日
文部省訓令第十五號

緒言

一本書は明治十四年七月二十日文部省訓令第十五號を以て改
正せられたる中學校教授要目に基づき中等教育程度各學校
教科書に充つる目的を編纂せしものなり。

一本書の主旨は従來の教科書の如き難解の字句格言等を材料
として強ひて讀書科と聯絡を保たんとし一方於ては實際習
字上の要素を狭きたる偏重の弊を避けて專ら習字科教授の
最良方法により基本的書法を以て出發點とし順次不運筆結
構の要訣を授け以て他を類推せしむるに在り。

一本書は右の主旨により僅少の時間於て教授と練習とに十
分の力を用ひしめ習字科の効果を多大ならしめんとするの
のなれば材料は教授と應用と相俟ちて進むことを圖れり。
一本書の教材の配當は別表の如しこれと實際教授時數の増
減によりては適宜斟酌すること教授者一任せり。

明治十四年九月

編者 識

(第二年)

考	備	各學期配當表	
<p>第學期の初め於て文字の形体を^レ示し其^レ々々文字は點畫の性質上相當なる恰好の備は^レることと^レ示さ^レべし</p> <p>手紙と封筒の書式は練習清書と^レ實物を用ゐしめ尚手紙の形式は^レ大體の説話を^レなすし</p> <p>臨書の便宜上習字用紙と^レ堅小用の文字の配置は^レ手本と^レ致せしむべし</p>	<p>第一習字形 (其二) 第一習結構大意</p> <p>第二習字形 (其三) 第二習全</p> <p>第三習詩 (七絶) 第三習假名交^り文</p> <p>第四習 <small>新教學^と基礎用字</small> (其二) 第四習結構大意 (其三)</p> <p>第五習全 (其三) 第五習全 (其四)</p> <p>第六習詩 (五絶) 第六習詩 (五絶)</p> <p>第七習詩 (七絶) 第七習詩 (七絶)</p>	<p>第一習 短句</p> <p>第二習 全</p> <p>第三習 假名交^り文</p> <p>第四習 全</p> <p>第五習 <small>手紙の書式^と封筒の書式</small></p>	<p>第一學期 凡十五週</p> <p>第二學期 凡十五週</p> <p>第三學期 凡十週</p>

(一) 形字
習一第

文及
市言富
合

物 文

第一字
(一) 物

(二) 形字
() 習二第

物 國
海 國
樂 門

物

四

()
習三第

習三第

古陵松柏吼天
山寺尋春寂寥
眉雪老僧時輟
落花深處說南朝

眼
靈
手
新

習
四
第

習
四
第

字
文
用
應

字
文
教
新

掌
拜
捧
路
促
蹇

相
省
眼
聞
聲
職

目
耳
手
足

習 四

新文用字

第四卷

新文用字

第五習

應文用字

新教文字

火水木王
秋燒煮冰泉河
林榮李寺地基在

水鏡集

古詩集

第五卷

卷之六

第六習

露も草葉を鞋にふれば
袖吹く風は汗を拭ふ
旅路の愉快を野路行く朝
追風も帆かけて泊る追は
我のため波を歌うたふ
たひ路の愉快は海ゆく夕

武士の矢を
射るに
矢を射るに
矢を射るに
矢を射るに
矢を射るに

習七第

習七第

武士の矢を
射るに
矢を射るに
矢を射るに
矢を射るに

鳴唯知和 願理助却

習字

(一) 結構

下平 上平 習一第 不齊 對時

鳴唯知和 願理助却

立木炭呂

品森林並

立木

品森林

並

(一) 總結

(二) 習

並

重正

立木炭呂

品森林並

春の聲
夕日沈めば松虫

五重

第三習

日暮の聲に夕日沈めば松虫
鈴虫機織蟬を鳴き出
づ或は金の板を叩くが如く
或は銀の鍔を振るが如し

村我素食
頤効偏飯

習四第

(三) 構 結

屈 撇

屈 波

習 四 第

減 波

減 勾

村我素食
頤効偏飯

多壽
山口鶴

陳密 習五 第 (四) 構 結

陳密

(四) 構 結
習 五 第

分 間

山口鶴 多壽

一
三

第
(四)
習

習 六 第

歲 及 一 盛
日 時 日 年
不 當 難 不
待 勉 再 重
人 勵 晨 來

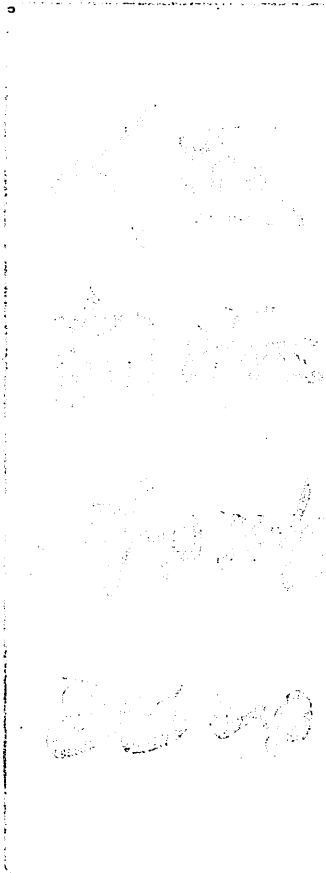
君子之志出鄉關
學若不成死不還
埋骨何期墳墓地
人間到處有青山

習七第

習七第

君子之志出鄉關
學若不成死不還
埋骨何期墳墓地
人間到處有青山

習一第



習一第

忠君愛國 義勇奉公

寒 涼

習二第

昏定晨省
冬溫夏清

Handwritten characters in cursive script, possibly '水' (water) and '手' (hand).

習三第

Handwritten characters in cursive script, possibly '水' (water) and '手' (hand).

行
也
也

第 二 卷

第 四 習

物
也
也
也
也

秋
山
海
音

山田

第五習 手紙の書式

一書拜呈久々拝顔を
得ず内外の法話何
かと積りの居るま
別段の設けを以て
どの来る行自午後五時
より以入来るをされたく
待ちよげや候

封筒の書式

東京市日本橋區市石所
 春丁目八番地
 大山春吉様
 手信

郵券

岐阜市中竹屋町四番戸
 封 中野芳三
 四月十号

封筒の書式

東京市日本橋區市石所
 春丁目八番地

中華民國二十九年四月

第一中學

卷

第一冊

五

中學校

第二學年

中
一

254

133

蘇州府志卷之四
 學校志
 蘇州府志卷之四
 學校志
 蘇州府志卷之四
 學校志
 蘇州府志卷之四
 學校志

2220.7

明治四十二年八月二日印刷
明治四十二年八月七日發行
明治四十一年十二月五日訂再版印刷
明治四十一年十二月廿五日訂再版發行

明治四十四年九月十日訂再版印刷
明治四十四年九月五日訂再版發行

定價各金拾八錢

不許複製

寶文館編輯所編纂
書者 玉木本三郎
發行兼 大葉久吉
印刷者 東京市日本橋區木石町三丁目十七番地

發行所

東京市日本橋區木石町三丁目
大阪市東區備後町四丁目

寶文館